

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [人間関係とコミュニケーション](#) | [対話のすすめ](#) ⑧話し合いの3つのモード
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)

対話のすすめ ⑧話し合いの3つのモード

「対話」活動は、メンバー同士の深い関係性をつくります。

話し合いには3つのモードがあり、私たちが普段やっている話し合いは「社会的な話し合い」と「ディスカッション（議論）」です。

話し合いの3つのモード

	社会的会話	ダイアログ(対話)	ディスカッション
目的	交流を深める (井戸端会議)	新しい考えを探索する (炉辺の語り)	結論や合意を出す (会議)
やり方	<ul style="list-style-type: none"> 結論を出そうとせず、思いつくまに話す 話の道筋を気にせず、自由な会話を楽しむ 理解よりも共感を求める 	<ul style="list-style-type: none"> 結論を求めず、新しい仮説を導き出す 判断を保留して、隠れた仮説を探る 探求と開示によって学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 意見をぶつけ合って、よりよい答えを導く 事実に基づいて論理的に話し合う 全員が納得する合意をつくりあげる
スキル	<ul style="list-style-type: none"> 連想ゲームのように話題を展開する 相手の話に関心し、自分も共感してもらう 対立をできるだけ避ける 話題が途切れないようにする 場がシラケないよう、真剣に話すぎない 	<ul style="list-style-type: none"> 部分同士のつながりを見て全体を理解する 人々の間で意味を共有化する 自分の思いや疑問を語り、問いかける 意見をまとめようとして、探求を続ける 対立をおそれず、沈黙も無理をしない 	<ul style="list-style-type: none"> 自説の正しさを主張して相手を説得する 対立解消や意見の収束をめざす 一致した基準で評価して最適な意見を選ぶ 問題を分類・整理して違いを見つける 合理性の高い話し合いをする
フレーズ(例)	<ul style="list-style-type: none"> ねえ、私の話を聞いてくれませんか そうだね。それってあるよね ところで、全然話は変わるけど... 	<ul style="list-style-type: none"> なるほど。だったら、こんな見方もあるのでは それって本当にそうなんですかね こういう意見についてはどう考えますか 	<ul style="list-style-type: none"> それは...の点で間違っています ...と考えるべきではないでしょうか 今回は、...ということでしょうか

3つはともに重要であり、場に応じて臨機応変に使い分けるようにすることが肝要です。

私たちは組織活動が中心ですから、ディスカッションには慣れていません。

しかしディスカッションはどうしても自分の考えを強く主張し、それを相手に認めさせようとしてしまいます。ところが「対話」では、一方的に主張するだけではなく、自分や相手の考えを「なぜそのように考えるのか」「どういう意味を持つのか」「他の考えはできないのか」というふうに、思考のプロセスを探ることが求められます。そのために相手が探りやすいよう、自分の意見を整理して主張するようにします。

例えば

「わたしは〇〇と思います。それは...という考えからそう思いました。これに対してみなさんは、どのように考えますか?」

質問者も

「どういうプロセスでそのように考えたのですか?」「あなたは...という言葉をどういう意味で使っているんですか?」

という具合に、自分の考えと相手の考えのどこが違うのかを確認しながら、一緒になって考えていきます。

「対話」に慣れてくると、何事も初めて聞くような気持ちで意見に耳を傾け、意見を相手の観点からも眺め、「先

教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

▶ キーワード検索はこちら

に進むには何をやる必要があるか」を自分の中に問いかけるようになります。
メンバー全員がここまでくればもうファシリテーターは必要ありません。

私たちの業界では、大議論の末にいくつものビジョンが出されては消え、出されては消えていきました。
おそらくその原因は「対話」活動の不足にあったものと思います

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

▶ サイトマップ ▶ このサイトについて ▶ 個人情報保護の取組みについて

▶ ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.